

吉田 信介 教授 略歴および主要研究業績



〈略 歴〉

出身地

1951年5月24日 奈良県

学 歴

- 1970年3月 大阪教育大学附属高等学校池田校舎 卒業
- 1975年9月 立命館大学法学部 卒業
- 1980年8月 米国カンザス大学大学院教育学研究科修士課程 修了

職 歴

- 1981年5月 Lion Office Products LTD. (Los Angeles) ～1983年3月
- 1986年4月 プール学院短期大学 専任講師 ～1990年3月
- 1990年4月 甲子園大学 助教授 ～1992年3月
- 1992年4月 武庫川女子大学 助教授 ～1994年3月
- 1994年4月 摂南大学 助教授 ～1998年3月
- 1998年4月 摂南大学 教授 ～2003年3月
- 1999年4月 摂南大学大学院 教授 ～2003年3月

2003年4月	立命館大学 教授	～2006年3月
2003年4月	立命館大学大学院 教授	～2006年3月
2006年4月	関西大学 教授	～2009年3月
2009年4月	関西大学大学院 教授	～2019年3月
2019年4月	関西大学 特別契約教授	～2022年3月
2019年4月	関西大学 名誉教授	

学内役職

2009年4月	外国語学部 教学主任	～2012年9月
2009年4月	外国語学部 SA 支援センター長	～2012年9月
2012年10月	外国語学部 副学部長	～2014年9月

社会的活動

1999年4月	大学英語教育学会 (JACET) 関西支部事務局長	～2000年3月
2000年4月	大学英語教育学会 (JACET) 研究企画委員	～2002年3月
2000年6月	大学英語教育学会 (JACET) Reading 研究会代表	～2002年6月
2002年4月	大学英語教育学会 (JACET) 評議員	～2006年6月
2004年4月	JACET 賞選考委員	～2006年；2015年4月～現在
2004年4月	外国語教育メディア学会 (LET) 運営委員	～2018年3月
2008年4月	外国語教育メディア学会 (LET) 理事	～2011年3月
2009年4月	全国英語教育学会 (JASELE) 理事	～2013年3月
2013年4月	全国英語教育学会 (JASELE) 会長代行副会長	～2015年3月
2004年4月	関西英語教育学会 (KELES) 事務局長	～2008年3月
2006年4月	関西英語教育学会 (KELES) 副会長	～2008年3月
2008年4月	関西英語教育学会 (KELES) 会長	～2012年3月
2012年4月	関西英語教育学会 (KELES) 理事	～2016年3月
2016年4月	関西英語教育学会 (KELES) 顧問	～現在
1999年4月	JACET Journal, JACET 関西支部紀要, ARELE 各学会誌査読委員	～現在
1995年4月	(独) メディア教育開発センター 研究協力者・共同研究員	～2002年3月
2003年4月	(独) 国際協力機構 (JICA) 専門家 (教授法・モニタリング)	～2009年3月
2016年4月	スーパーグローバルハイスクール・アソシエイツ校指導委員	～現在
2019年4月	大学英語教育学会 (JACET) 出版物選考委員	～現在
2005年7月	先進的教育実践賞受賞 (立命館大学)	
2015年4月	関西大学外国語教育学会 会長	～2022年3月

主要研究業績

【著書（分担執筆）】

- 『はじめてのCAI』山口書店，1992年11月，101-114頁；169-186頁。
- 『コンピュータ利用の外国語教育—CAIの動向と実践—』英潮社，1993年11月，104-113頁。
- 『認知的アプローチによる外国語教育』松柏社，2000年1月，98-126頁。
- 『英語リーディングの認知メカニズム』くろしお出版，2001年4月，310-323頁；370-383頁。
- 「TV番組による遠隔学習と現職教員研修—開発途上国における実践—」，記念論文集編集委員会編『英語授業実践学の展開』三省堂，2007年5月，130-143頁。
- 「国際交流イベントのデザイン」，久保田，他編『ICT教育のデザイン』，日本文教出版，2008年8月，257-280頁。
- 「発話・筆記プロトコルによる方法」，門田，他編『英語リーディング指導ハンドブック』，大修館書店，2010年5月，375-384頁。
- 「音読・シャドーイング指導のためのパソコンを活用した教材作成法」門田，他編，『英語音読指導ハンドブック』大修館書店，2012年10月，279-288頁。
- 「国際理解教育の変遷と研究動向・展望」『英語教育学の今』全国英語教育学会編，2014年8月，358-362頁。
- 「第4章 SDGs と国際ボランティア」『アカデミアが挑むSDGs — 関西大学の多様な取り組み—』KANDAI for SDGs 推進プロジェクト編，関西大学出版部，2022年3月（印刷中）

【論文】

- 「英語外来語の日米における情緒的意味の相違について」中部地区英語教育学会『紀要』13，37-44頁，1984年3月
- 「大学生の英語読解力とそのスピードの研究」共著，中部地区英語教育学会『紀要』14，117-125頁，1985年3月
- 「大学生の英語読解速度の研究」共著，中部地区英語教育学会『紀要』14，168-174頁，1985年3月
- 「大学生の英語読解力—講読の資料として—」，『TEFL IN JAPAN—JALT 10周年記念論文集』117-125頁，1985年8月
- 「海外における外国語教育の教材編成基準の考察」，プール学院短期大学『研究紀要』26号，47-63頁，1986年3月
- 「大学生の英語読解力の問題点—誤答の種類と原因—」，共著，中部地区英語教育学会『紀要』15，8-13頁，1986年3月
- 「5つの読解テストを利用した大学生の英語読解速度及び理解度の研究」，共著，中部地区英語教育学会『紀要』15，83-188頁，1986年3月

- 「CAIによる読解訓練とその有効性」, 共著, 中部地区英語教育学会『紀要』16, 7-10頁, 1987年2月
- 「大学英語教材のReadabilityの研究—Cloze法, Fleschの公式による—」, 共著, 中部地区英語教育学会『紀要』16, 231-235頁, 1987年2月
- 「大学英語教材の動向の研究(1)—1985年度新刊テキストの分析と評価—」, 共著, 京都外国語大学『研究論叢』第XXVIII号, 77-85頁, 1987年3月
- 「直読直解用CAIソフトとそのLLへの応用」, 共著, 語学ラボラトリー学会, Language Laboratory第24号, 69-80頁, 1987年6月
- 「大学英語教材の動向の研究(2)—海外ESL用テキストの分析と評価—」, 共著, 京都外国語大学『研究論叢』第XXIX号, 65-76頁, 1987年9月
- 「英語直読直解訓練用CAI(LLへの応用を中心に)」, 共著, 摂南大学『摂大学術』第6号, 33-43頁, 1988年2月
- “English Textbooks in Japanese Colleges: A Study of Trends and an Analysis for 1985”, 共著, 『同志社大学英文学』Doshisha Literature No.33, 128-139頁, 1988年3月
- 「IBM 5550を用いたCAI直読直解訓練」, 共著, 中部地区英語教育学会『紀要』17, 26-31頁, 1988年3月
- 「英語の依頼における敬意表現の認識調査—日米の比較—」, 共著, 中部地区英語教育学会『紀要』17, 253-258頁, 1988年3月
- 「大学英語教材のReadabilityの研究—Cloze法, 平均語数, 未習語数, Fleschの公式, Fryの公式, Colemanの公式による—」, 共著, 『白馬夏期言語学会論文集』第2号, 12-24頁, 1988年4月
- 「大学生用英文法テキストの動向の研究」, 共著, 中部地区英語教育学会『紀要』18, 249-254頁, 1989年3月
- 「大学英文法教材における練習問題の研究」, プール学院短期大学『研究紀要』第28・29合併号, 232-245頁, 1989年12月
- 「CAI語彙学習ソフトの開発」, 共著, 中部地区英語教育学会『紀要』19, 31-35頁, 1990年5月
- “English Reading Training CALL and Students' Cognitive Process”, 共著, 摂南大学『摂大学術第9号』, 25-38頁, 1991年2月
- 「CAI直読直解訓練における解答のパターン—反応速度・正答率による—」, 共著, 中部地区英語教育学会『紀要』20, 229-234頁, 1991年5月
- 「語形成によるCAI語彙学習」, 『甲子園学院創立50周年記念論文集』, 97-205頁, 1991年10月
- 「多角的CAIの可能性と実践—摂南大学の場合—」, 共著, 摂南大学『摂大学術第10号』, 121-132頁, 1992年2月
- 「英語教育改善のためのCAIシステム」, 共著, 中部地区英語教育学会『紀要』21, 235-240頁,

1992年4月

「英文 Direct Reading CAI の開発と実践」, 共著, 『CAI 学会誌』 Vol. 9, No. 4, 147-157 頁, 1992年12月

「米国の語学教育における CAI の現状 — ワシントン大学の場合 —」, 共著, 1994年2月, 『摂大人文学創刊号』, 159-175 頁, 1994年2月

「コンピュータ支援による制限英作文システムの開発とその効果」, 共著, 『国際言語文化』, 第2号, 23-45 頁, 1994年5月

「情報機器の利用とコンピュータ不安に関する意識調査」, 共著, 『教育システム情報学会誌』 Vol. 12, No. 2, 145-152 頁, 1995年7月

「実用英語学習用ソフトのマルチメディア化の研究 — 開発過程, 及びテキストベース型との比較 —」 『立命英米文学 14 号』, 17-33 頁, 1996年9月

「実用英語学習用ソフトの開発と実践」, 『LLA 関西支部研究集録 6』, 71-86 頁, 1996年9月

「マルチメディア型英語 CALL システム — 自作ソフトの可能性 —」, 共著, 『CIEC 会誌コンピュータ & エジュケーション』 Vol. 1, 85-90 頁, 1996年11月

「コンピュータ利用による英語教育 — 開発と実践 —」, 『放送教育開発センター 研究報告 Vol. 99』, 72-87 頁, 1997年2月

“Strategies in Answering Cloze Items: An Analysis of Learners’ Think-aloud Protocols”, 大学英語教育学会 『紀要』 第 28 号, 207-222 頁, 1997年11月

「コンピュータ利用による英語教育の可能性 — 実践事例とその問題点 —」, 『立命館経済学』 第 46 巻 5 号, 67-87 頁, 1997年12月

「EFL 学習者のためのマルチメディア速読 CALL プログラムの開発と評価」, 共著, 『ことばとコミュニケーション』 第 2 号, 41-52 頁, 1998年7月

「学習素材としての WWW サイトの評価基準作成の試み」, 文部省メディア教育開発センター 『研究報告』 5 号, 179-200 頁, 1998年11月

「英語教育におけるインターネットの活用 — テキストの読み易さと題材による動機付け —」, 文部省メディア教育開発センター 『メディア教育研究』 1 号, 109-123 頁, 1998年9月

“Modalities of Subtitling and Foreign Language Learning”, 共著, 語学ラボラトリー学会 『LLA 関西支部研究集録』 vol. 7, 49-63 頁, 1998年7月

「CALL での学習と外国語学習方略」, 共著, 『CIEC 会誌コンピュータ & エジュケーション』 Vol. 6, 76-79 頁, 1999年5月

“Toward the Establishment of Country-by-Country SILL (Strategy Inventory for Language Learning) Norms”, 共著, 語学ラボラトリー学会 『Language Laboratory』 第 36 号, 51-62 頁, 1999年6月

「読解における処理単位 — 英文の提示単位が理解度および処理時間におよぼす影響 —」, 共著,

- Annual Review of English Language Education in Japan (ARELE) vol. 10, 61-71 頁, 1999年8月
- 「英語教育のための WWW サイト検索用オンラインデータベースの構築」, 文部省メディア教育開発センター 1999 年度『研究報告』, 163-176 頁, 1999 年 9 月
- “Developing and Evaluating EFL Vocabulary Software: A “Root” Approach”, 共著, AILA CD-ROM Proceedings, Organizing Committee of the 12th World Congress of International Association of Applied Linguistics, 1999 年 8 月
- 「句動詞による動詞コア・イメージの学習」, 共著, 『2000PC Conference 論文集』82-83 頁, 2000 年 7 月
- 「日本人 EFL 学習者における英語の文理解と語彙処理能力の関係」, 共著, 『外国語教育メディア学会関西支部研究集録 8』, 57-67 頁, 2001 年 3 月
- 「英語教育のための Web サイトの開発と実践」『外国語教育メディア学会関西支部研究集録 8』, 17-30 頁, 2001 年 3 月
- 「インターネットによる国際交流—BBS の構築と教師の役割」— 高等教育におけるメディア活用と教員の教授能力開発—Ⅳ. メディアを活用する教員支援のための提案— 文部科学省大学共同利用機関メディア教育開発センター『研究報告 26』, 50-61 頁, 2001 年 3 月
- 「外国語 (英語) 教育のためのオンラインテスト利用の一形態」「高等教育におけるメディア活用と教員の教授能力開発—Ⅴ. 研修プログラム提案事例集— 文部科学省大学共同利用機関メディア教育開発センター『研究報告 27』, 55-56 頁, 2001 年 3 月
- 「WWW サイト評価基準の作成と英語教育への活用」『立命館大学政策科学外国語教育研究特集 第 3 号』, 63-71 頁, 2001 年 3 月
- “The Qualitative Effects of Text Organization on L 1 and L 2 Reading Comprehension—Limitations and possibilities of written recall analysis—”, 共著, 『Language Education & Technology No. 38』, pp.1-19, 2001 年 6 月
- 「語の正書法・音韻の処理と文の意味理解との関係—外国語としての英語における実証的研究—」, 共著, 『ことばの科学研究 第 3 号』, 2002 年 6 月
- 「IT 時代の英語教育—ネットサーチによる学習効果—」, 『立命館大学政策科学部紀要』10 巻 3 号 (通巻 23 号), 121-133 頁, 2003 年 3 月
- 「オンライン VOA 学習におけるリスニング能力の育成」, 共著, 『PC Conference 論文集』, 267-270 頁, 2003 年 8 月
- 「英語リスニング学習における PC 教室と普通教室の差異」, 共著, 『PC Conference 論文集』, 69-72 頁, 2003 年 8 月
- 「ネットワーク VOA リスニング教材における中期学習の効果」, 共著, 『PC Conference 論文集』, 410-411 頁, 2004 年 8 月

- 「パプアニューギニアにおける言語教育」, 『立命館大学産業社会論集』第40巻第4号, 143-158頁, 2005年3月
- “Off-line and on-line study on processing of garden path sentences by Japanese EFL learners”, 共著, 大学英語教育学会『紀要』第41号, 173-189頁, 2005年10月
- 「立命館大学・立命館アジア太平洋大学遠隔交流授業およびアジア学生交流プログラムにおける国際交流—掲示板・チャット記録の分析—」, 共著, 『立命館大学産業社会論集』第41巻第4号, 143-154頁, 2006年3月
- 「立命館大学と立命館アジア太平洋大学間の日英語クラス遠隔交流授業」, 共著, 『立命館高等教育研究』第6号, 1-16頁, 2006年3月
- 「英語リスニング力における学習環境の差異: PC教室と普通教室の比較」, 共著, JALT Journal, Volume: 28, Issue No. 2, 159-176頁, 2006年11月
- 「効果的なコミュニケーション—グループミーティングとファシリテーションから考える」, 『学習情報研究』, 198号, 40-44頁, 2007年9月
- “Exploring differences between shadowing and repeating practices: an analysis of reproducing rate and types of reproduced words”, 共著, ARELE, Vol. 21, pp.81-90, 2010年3月
- 「英語プレゼンテーションの指導と構成」, 『学習情報研究』, 218号, 22-25頁, 2011年1月
- “Motivation of Learning in Alternative Study Abroad Destination”, 共著, International Journal for Educational Media and Technology, Vol. 5, No. 1, pp.62-74, 2011年9月
- 「国際交流におけるコンフリクトの解決スキル」, 『関西大学外国語学部紀要』第5号, 57-63頁, 2011年10月
- 「フィリピンにおける留学プログラム～ボランティア活動に焦点をあてて～」, 『関西大学高等教育研究紀要』, 第3号, 89-94頁, 2012年3月
- 「関西大学外国語教育におけるICTの活用」, 『関西大学ITセンター年報』13-22頁, 2012年7月
- 「アジアをめぐる2つの国際協働プロジェクトと英語教育」, 『学習情報研究』243号, 40-43頁, 2015年3月
- “Kansai-Cheng Shiu University COIL project ~ A COIL-Enhanced Pilot Course ~”, 共著, 2015 Proceedings for Global Education Workshop and KU-COIL Conference, pp.51-54, December 2015.
- 「国際協働プロジェクトASEP & WYMの実践と課題」, 『関西大学高等教育研究』第8号, 103-109頁, 2017年3月
- 「国際協働プロジェクトにおけるグループ・ダイナミクス」, 『関西大学高等教育研究』第9号, 167-176頁, 2018年3月
- 「国際協働プロジェクトにおけるグループ活動～自己評定アンケートによる調査結果～」, 『関西大学高等教育研究』第10号, 153-162頁, 2019年3月

「Society 5.0×SDGs でのアジア圏グローバル人材育成活動」, 『関西大学外国語学部紀要』23号, pp.59-68, 2020年10月

「PBL 国際協働型英語アクティブラーニングにおけるグループ学習で活用できる英語ディスコース・マーカの研究」, 『関西大学外国語学部紀要』25号, 79-90頁, 2021年10月

【国際学会発表】

Yoshida, S., Kobayashi, T. et al. “CAI for English Reading Training”, IATEFL-TESOL SCOTLAND Summaries from the Edinburgh International Conference, No. 100, pp.4-5, August 1988.

Yoshida, S., Kobayashi, T. et al. “English Reading Training, CALL System and the Defect of TEFL”, IATEFL Newsletter: Warwick Conference Issue No. 104, pp.10-11, August 1989.

Yoshida, S., Kobayashi, T. et al. “English Reading “EiCALL” System for Japanese College Students”, The Proceedings of the 2nd International Conference on FLEAT, pp. 385-394, August 1992.

Yoshida, S., Mine, H. et al. “Developing and Evaluating a Multimedia CALL Software System”, The Proceedings of the 3rd International Conference on FLEAT, pp.463-472, August 1997.

Yoshida, H., Saeki, N. et al. “Developing and Evaluating EFL Vocabulary Software: A “Root” Approach”, AILA Proceedings and Abstracts, Organizing Committee of the 12th World Congress of International Association of Applied Linguistics, p.334, August, 1999.

Kadota, S., Yoshida, Shinsuke, et al. [SYMPOSIUM]” Psycholinguistic Variables of Text Comprehension in EFL Reading.” AILA Proceedings and Abstracts, Organizing Committee of the 12th World Congress of International Association of Applied Linguistics, p. 107, August, 1999.

Yoshida, S., and Yoshida, H. “Investigating Comprehension Strategies by L1 and L2 Readers Using an Internet-Adapted English Cloze Test”, The Fourth Conference on Foreign Language Education and Technology Proceedings, pp. 386-393, August 2000.

Yoshida, S., “Developing a Web-Based English Language Learning System for Japanese College Students”, Proceedings for the First International Conference on Multi-media Language Education of APAMALL, pp.465-479, December 2003.

Yoshida, S. & Seta, Chieko, “JICA Partners Project, Distance Education by Utilizing Live Recording of Classroom, Papua New Guinea, Report of Facilitators’ Training, pp. 1-22, August, 2003”, January, 2004.

Kuramoto, A., et al., “Classroom PCs as a determinant of learner attitudes”, Abstracts for the 14th World Congress of Applied Linguistics, America Association for Applied Linguistics, p. 169, July 26, 2005, Madison, Wisconsin, USA.

Yoshida, S., Kaji, D., Nagase, Y., & Hamdada, M, “Developing an extensive English reading program utilizing Adobe Flash” Proceedings of International Conference for Media in Education 2008 (ICoME), 249-252, August 2008, Osaka, Japan.

Yoshida, S. “Development and practice of an Electronic Phrasal Verb Wordbook with GIF animations” Proceedings of the WorldCALL Conference, pp.93-96. August 2008, Fukuoka, Japan.

Yoshida, S., “Digital graphic schematizations for acquiring English phrasal verbs”, 10th International Conference for Media in Education 2012 (ICoME) Aug. 20, 2012, Beijing, China.

【CALL 教材（共同開発）】

『英語直読直解 CALL ソフト：EiCALL』, 英潮社, 1993 年 2 月

『英語 CALL ソフト：スーパー英検準 2 級』, 松柏社, 1995 年 3 月

『タイプ学習ソフト』, 星座システム, 1995 年 3 月

『マルチメディア英語 CALL ソフト：英検 2 級合格宣言』, 松柏社, 1998 年 1 月

『語根による語彙学習ソフト』, 松柏社, 1999 年 4 月

【大学教科書（共著）】

『カイロの紫のバラ』 ウッディ・アレン著, 松柏社, 1994 年 1 月

『アニーホール』 共著, ウッディ・アレン著, 松柏社, 1995 年 1 月

『マンハッタン』 共著, ウッディ・アレン著, 松柏社, 1996 年 1 月

『CNN：ビデオで見る世界のニュース（1）-（16）』, 朝日出版社, 2000 年 4 月～2015 年 1 月

『I Hear America Talking』 松柏社, 1998 年 1 月

『オンラインで学ぶ VOA ライフ系総合英語』, 松柏社, 2002 年 4 月

『総合英語パワーアップ—リスニングからリーディング—〈基礎編〉』, 共著, JACET リスニング研究会, 南雲堂, 2004 年 1 月

『リスニングで学ぶ現代の社会事情』, 成美堂, 2007 年 4 月

文部科学省科学研究費補助金

【研究代表者】

基盤研究（C）, 「語彙, 文法, 読解, 作文による多角的 CAI 実用英語学習システムの開発と実践」, 1995～1996 年度, 配分額 2,000 千円, 課題番号 07680238

基盤研究（C）, 「正統的周辺参加の実践の場としてのオンライン英語クローズテストの開発とその効果」, 2003～2004 年度, 配分額 1,200 千円 課題番号 15520380

基盤研究（C）, 「国際社会で生きる力を育てる英語教育の研究—PCM 手法を活用して」, 2009

～2011年度, 配分額2,470千円, 課題番号21520609

基盤研究(C), 「国際協働による英語アクティブラーニングの研究」, 2013～2016年度, 配分額2,990千円, 課題番号25370670

基盤研究(C), 「PBL国際協働型英語アクティブラーニングにおけるチームワーク力の評価指標の開発」, 2021～2023年度, 配分額2,576千円, 課題番号21K00693

【研究分担者】

基盤研究(C), 「英語基本動詞のコア・イメージを用いた句動詞による外国語学習の展開」, 1999～2000年度, 配分額3,000千円, 課題番号11680233

基盤研究(C), 「遠隔交流授業における異文化理解と異文化コミュニケーション教育の研究」, 2004～2006年度, 配分額2,500千円, 課題番号16520361

基盤研究(C), 「大学における海外長期留学プログラムの総合的アセスメント研究」, 2009～2011年度, 配分額4,160千円, 課題番号21520610

助成金

【JICA 委託研究】

『パプアニューギニア国テレビ番組による授業改善計画』(TV授業モニタリング・評価分野に関する国内作業および現地調査), 2003～2009年, 配分額1,025千円(受託研究番号73)

【関西大学重点領域研究】

「アジア・オセアニアにおける国際教育プログラムの開発に関する基礎研究」共同研究, 2013年

【堺市と関西大学との地域連携事業】

「日中姉妹都市交流による大学生グローバル・リーダーの育成」, 2020～2021年度, 配分額800千円

【民間団体】

「CAI制限英作文プログラムの開発とその有効性の研究」財団法人言語教育振興財団研究助成事業『研究成果報告書収録(2)』, 44-45頁, 1994年10月

「統合的CAI実用英語システムの開発と実践」財団法人言語教育振興財団研究助成事業『研究成果報告書収録(4)』, 72-73頁, 1996年10月

「インターネット対応マルチメディアリーディング教材の開発とその評価」共著, 『平成9年度財団法人松下視聴覚教育研究財団研究調査助成報告書』, 69-85頁, 1999年8月